■外形寸法

（単位：mm）

標準パイプでの外形寸法

延長パイプ600mm（[ ]は900mm）での外形寸法

●部品の組み合わせにより寸法が異なる場合があります。

保証について

○保証期間は商品お買上げ日より1年間です。
ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。
※ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品、セード・グローブ類・リモコン送信機等は対象外とさせていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期限とします。

○保証内容は、取扱説明書・本体貼付シール等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。

○保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
1.お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
2.施工上の不備に起因する故障や不具合
3.使用上の誤りおよび、不当な修理や改造による故障および損傷
4.車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
5.火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
6.日本国内以外での使用による故障および損傷
7.法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷

アフターサービスについて

○修理を依頼されるとき
1.保証期間内の場合
販売店のレシート等、お買上げ日を特定できるものを添えて、お買上げ販売店までお申し出ください。
2.保証期間を過ぎている場合
お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

○補修用性能部品の最低保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
※性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

○アフターサービスについてご不明な点（修理・取扱いのご相談）は、お買上げの販売店へお申しつけください。
転居や贈答品などでお買上げの販売店にご依頼できない場合、

1.その他のお問合わせは、「修理窓口」へ
東日本フロントセンター ☎(03)3424-1111 東京都世田谷区池尻3-10-3
西日本フロントセンター ☎(06)6454-3901 大阪市北区大淀中1-4-13
フリーダイヤル (0120) 56-8634

2.その他のお問合わせは、「ご相談窓口」へ
お客さま相談センター（フリーコール）
(0120)139-365 東京都世田谷区池尻3-10-3

■この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

三菱電機株式会社
製造会社 三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/
☎(0467)41-2729 FAX (0467)41-2786

MITSUBISHI

三菱シーリングファン

形名 CF02AS
CF02AM

取扱説明書

施工者さまへ
取付工事のあと、必ずこの取扱説明書を使用者さまにお渡しください。

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきましてありがとうございました。

お客さまへ
ご使用前に、正しく安全にお使いいただくためにこの「取扱説明書」を必ずお読みください。
そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。

■安全上のために必ずお守りください。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●取り付けについて

⚠警告

●電気工事は電気工事士の有資格者が「電気設備の技術規準」・「内線規程」に従って行う。
●シーリングファンの取り付けは、取扱説明書に従って行う。取り付けに不備があると落下・感電・火災等の原因。
●取り付け、取り外しは必ず電源を切ってから行う。
●振動や衝撃の大きい場所には取り付けない。落下してけがの原因。
●シーリングファンは、天井面の丈夫なところ(補強材のあるところ）に取り付ける。薄い天井面、弱い天井面等に取り付けると、器具落下の原因。（天井厚さ30mm以下、100mm以上には取り付けできません。）
●補強材は45×45以上が必要です。
●取付金具には必ず木ねじ（回り止め用）を取り付ける。回転して器具落下の原因。

取り付け

⚠注意

●交流100V（50Hz,60Hz）以外の電圧で使用しない。
間違って器具に過電圧を印加した場合、器具の寿命が短くなったり、加熱による火災の原因。また、異常回転による振動が発生する場合があります。
電源電圧

●暖房器具、ガス器具等の真上付近等の温度の高い場所では使用しない。
火災・感電の原因。
（この器具は、5～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。）
温度

●このシーリングファンは非防水形です。屋外や湿気の多い場所では使用しない。
（蒸気の発生する場所など）
感電・火災・絶縁不良の原因。
湿気禁止

●お客様自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。感電の原因。
●シーリングファンを取り付ける際、壁紙、クロス貼りなどの接着剤が十分乾燥してから取り付ける。
メッキや塗装などの変色やサビの原因。
●調光器による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線で使用すると、シーリングファンや照明器具(別売り）のランプが短寿命となります。また、異常回転による振動が発生する場合があります。
●必ず壁スイッチを付けて使用する。シーリングファン1台につき1つ必要です。
●油、ホコリの多い場所や、薬品（酸、アルカリ）を使う場所には取り付けない。火災、感電の原因。

●ご使用について

⚠警告

●シーリングファンを改造したり、部品を変更して使用しない。
落下・感電・火災の原因。
改造

●本体にぶらさがらない。
落下してけがの原因。
●紙や布などを器具や羽根にかぶせたり近くに置いたりして、使用しない。
可燃物

●異常な振動や音が発生した場合はただちに使用を停止する。
火災等の原因。

⚠注意

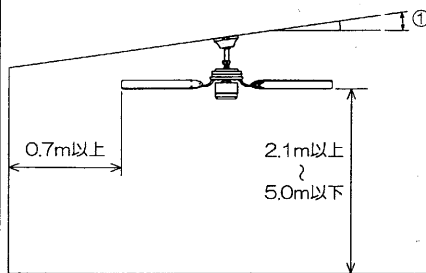
●運転中は羽根に触れない。
けがの原因。
接触禁止

●万一、羽根が壊れた時は全ての羽根を交換する。
振動してゆれや落下の原因。

●お手入れの際は、必ず電源を切る。
感電の原因。
電源を切って

●長時間風にあたらない。
健康を害することがあります。

■器具を取り付ける前に

■シーリングファンの性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。
■壁スイッチ1つに対して、1台のシーリングファンを取り付けてください。（1つの壁スイッチで2台以上のシーリングファンを取り付けると、照明器具（別売）の点灯が切り替わらない場合があります。）
※シーリングファンに使用しているモーターの振動音が発生する場合がありますが異常ではありません。
※シーリングファンの羽根の回転により横揺れ（3～5mm）が発生する場合がありますが異常ではありません。
※シーリングファンには取付専用の照明器具のみ取り付けることができます。その他の照明器具は取り付けることができません。取付可能な照明器具についてはカタログ等で確認してください。

●壁面から羽根までの先端まで0．7m以上離してください。
●床面から羽根までの高さは2．1m以上～5．0m以下で使用してください。
①傾斜天井で使用する場合は、下記角度以内としてください。

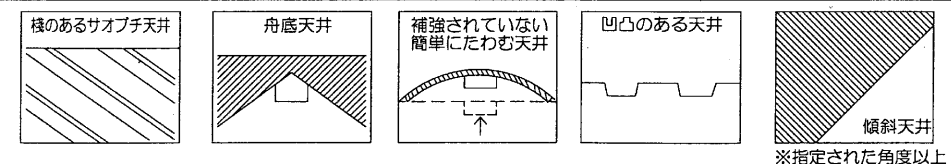
標準パイプ10cm（付属）使用時	傾斜角度8°まで
延長パイプ60cmタイプ（別売）使用時	傾斜角度30°まで
延長パイプ90cmタイプ（別売）使用時	傾斜角度30°まで

本体とまわりの壁面や他のシーリングファンとの間がせまいと、空気の流れがみだれて性能が低下したり、本体がゆれたりします。
左図の寸法以上になるように取り付けてください。

■補強されていない天井には取り付けないでください。落下の原因となります。
（補強材は45×45以上が必要です。また30mm以下、100mm以上の厚みの天井には取り付けできません。）
■シーリングファン本体は引掛シーリングに取り付けることができません。天井面に引掛シーリングが取り付けられている場合は取り外してください。
■延長パイプ（別売）使用時は、取り付けが正常であっても、羽根の回転によりシーリングファン本体にゆれが発生しますが異常ではありません。

■次のような場所には取り付けない（誤動作・故障の原因）

警告

このシーリングファンは天井取付専用です。壁面には取り付けることはできません。
指定以外の場所には器具が取り付かない場合や、取り付いた場合でも火災・感電・落下してけがの原因。
また、天井面とのすき間の発生の原因。

※指定された角度以上

⚠ 注意　誤動作、故障の原因。

1．高温・多湿（蒸気が発生する場所など）になるところには取り付けない。
2．直射日光の当たる場所には取り付けない。
変色や変形の原因。

3．薬品・油・ホコリの多いところでは使用しない。

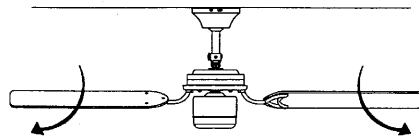
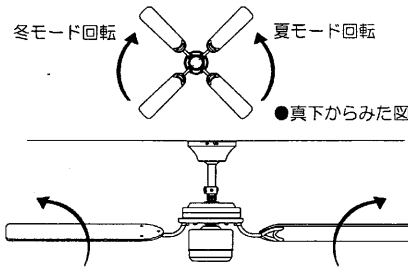
4．他の蛍光灯照明器具と1．5m以内の場所には取り付けない。

■故障かな？と思ったら

■故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください

現象	No.	考えられる原因	処置方法
ファンが動かない	1	壁スイッチ（電源）がOFFになっている	壁スイッチをONにしてください
	2	リモコン送信機の電池が消耗している	新しい電池と取替えてください
	3	リモコン送信機の電池が正しく入っていない	正しい向きに入れてください
	4	リモコン送信機とファン本体のチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください　CH1/CH2　CH1　CH2
	5	受光機の表面が汚れている	柔らかい布で汚れをおとしてください
	6	しゃへい物がある	しゃへい物をさけ送信機をシーリングファンの受光機に向けてリモコン操作をしてください
	7	羽根が障害物にあたっている	必ず電源を切ってから障害物を取り除いてください
	8	電源配線（接続）が正しく行われていない	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください
	9	壁スイッチ（電源）が故障している	お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください
	10	タイマー回路等に接続している	タイマーが優先になっていると動作しない場合があります
本体のゆれが大きい振動している	11	羽根が破損・変形している	すべての羽根を交換してください
	12	取付天井面が丈夫ではない	丈夫な天井に取り付けてください 補強材は断面積45×45以上が必要です
	13	壁面からの距離が近い	壁面から羽根の先端までは0．7m以上離してください
ファンがとまらない	14	現象No．2，3，5でもないのに止まらない	速やかに壁スイッチを切ってください お買い求めの販売店・工事店等に依頼してください
照明器具(別売)が点灯しない	15	電源コードが差し込まれていない	シーリングファンからのコネクタを照明器具に差し込んでください
照明器具の明るさを切り替えできない	16	白熱灯シャンデリアを「蛍光灯」モードで使用している。	白熱灯シャンデリアは「白熱灯」モードで使用してください
照明器具が《OFF》ボタンを押しても消灯できない	17	リモコン送信機とファン本体のﾁｬﾝﾈﾙが違う	同じチャンネルにしてください
	18	全光点灯直後、数分間リモコン操作ができない場合がある	数分間経ってから《OFF》ボタンを押してください。または《ON》ボタンを押すごとに点灯状態を切り替えて消灯させてください
ファン本体や照明器具からうなり音がする。	19	ファン本体のモーターの振動音が、天井面に共鳴する。	異常ではありません 天井面を補強してください
	20	白熱灯シャンデリアで調光（80%～20%）点灯している。	異常ではありません 調光点灯ではわずかにうなり音が発生します
	21	蛍光灯器具を「白熱灯」モードの調光状態で点灯している。	蛍光灯器具は「蛍光灯」モードで使用してください。発煙、発火のおそれがあります
ファンのリモコン操作ができない	22	リモコン送信機とファン本体のﾁｬﾝﾈﾙが違う	同じチャンネルにしてください
	23	全光点灯直後、数分間リモコン操作ができない場合がある	数分間経ってからリモコン操作をしてください
	24	他の蛍光灯器具が近くにある。	他の蛍光灯器具と1．5m以上離してください

■サーキュレーション効果について

シーリングファンによるサーキュレーション効果で、冷暖房効果がアップし、省エネ効果を高めます。

●夏の冷房時には、床面にたまる冷気を循環させ、頭上から冷気が降り注ぐさわやかな空気循環をつくります。

●冬の暖房時には、天井近くにたまる暖かい空気を循環させ、お部屋の温度ムラをなくします。

■お手入れのしかた

⚠注意　お手入れの際は必ず電源を切る。感電の原因。

●シーリングファンのメッキ部分は乾いた布でふいてください。
よごれがひどい場合はぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。
●シーリングファンの羽根はぬるま湯またはうすめた中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。
●シーリングファンの羽根に強い力を加えて変形させないでください。ゆれや振動の原因となります。

⚠ 警告

●シーリングファンに直接水をかけて洗わない。器具の破損・落下・感電などの原因。

⚠ 注意

●メッキや塗装をいためるため、ガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしない。
●金属部分をクレンザーやたわしでみがいたりしない。傷ついたり腐食の原因。

■長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体に行っております。

(設計上の標準使用期間とは)
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

(経年劣化とは)
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化を言います。

⚠
【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】１５年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

標準使用条件　日本電機工業会自主基準 HD-116-3 による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz及び60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	製品の取扱説明書による
負荷条件		定格負荷（風速）	製品の取扱説明書による
想定時間など	1日あたりの使用時間	10（h／日）	
	1日使用回数	5（回／日）	
	1年間の使用日数	180（日／年）	
	スイッチ操作回数	900（回／年）	

■仕様

定格電源電圧　AC１００V

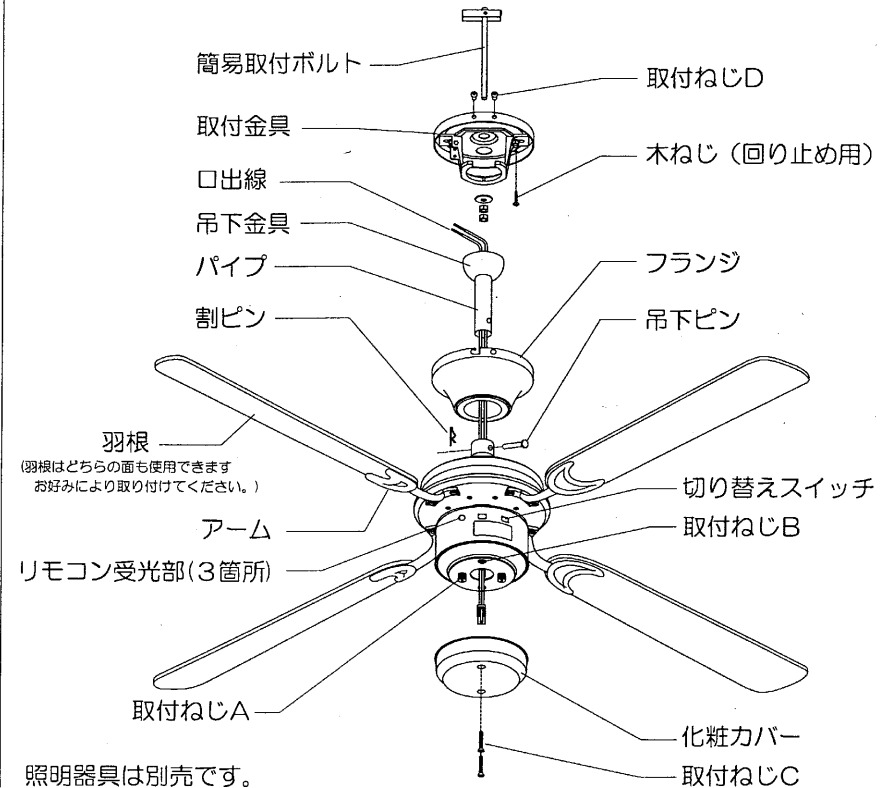
電源周波数 50Hz	スピード	回転数 (rpm)	風量 (m3/min)	消費電力 (W)	待機電力 (W)	入力電流 (A)
夏回転	強	105	56	29	1.2	0.32
	中	65	36	21		0.25
	弱	42	15	17		0.22
冬回転	強	100		28		0.30
	中	63		20		0.24
	弱	40		16		0.21

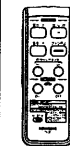
電源周波数 60Hz	スピード	回転数 (rpm)	風量 (m3/min)	消費電力 (W)	待機電力 (W)	入力電流 (A)
夏回転	強	110	66	36	1.5	0.41
	中	70	43	24		0.33
	弱	45	16	18		0.28
冬回転	強	105		35		0.40
	中	65		23		0.32
	弱	42		17		0.27

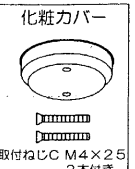
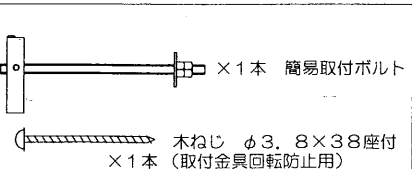
※電圧や室温等の条件により１０％程度の誤差が生じる場合があります。

■各部のなまえ

・この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

照明器具は別売です。

■付属部品

付属品が全て入っているか確認してください。

■シーリングファンの取り付けかた

⚠警告	感電のおそれあり。
作業を行うときは、必ず電源(ブレーカー)を切る。	

1．天井に取付金具を取り付ける

1．フランジから取付金具を外す。
1）取付ねじDを2箇所外します。
2）取付ねじDを2箇所ゆるめます。
3）フランジを回転させて取付金具を外します。

3）取付金具を外す
1）取付ねじD外す（2箇所）
取付金具
フランジ
2）取付ねじDゆるめる（2箇所）

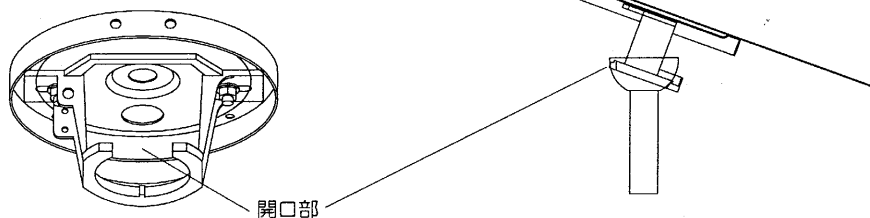
2．天井面に取付金具を簡易取付ボルトで取り付ける。
●簡易取付ボルトによる取付方法
1）天井面の強度を確認してください。
2）天井面に簡易取付ボルト取付用穴φ１５をあけます。
3）簡易取付ボルトの回転金具を介して天井穴に挿入します。
4）天井面から出幅が２０mm程度になるようにボルトを回転させてください。
5）取付金具のボルト施工用穴にボルトを通し、丸ワッシャー、六角ナット（2個）を締め付けて取付金具を固定します。
6）取付金具に木ねじ（回り止め用）１本を取り付けます。

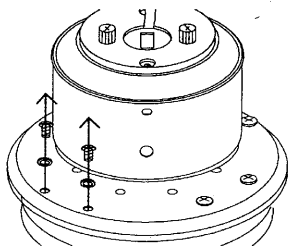
φ127
φ20穴（電源用穴）
4-φ4穴 木ねじ用穴（回り止め用）
φ13穴（ボルト施工用）
34
116
116

回転金具
ボルト
補強材（補強材は45×45以上が必要です。）
天井
φ１５ボルト施工用穴
３０mm以下、１００mm以上の厚みの天井には取り付けできません。
取付金具
六角ナット（2個）
丸ワッシャー
木ねじ（回り止め用）
※ボルトの出幅は天井面から２０mm程度にする。

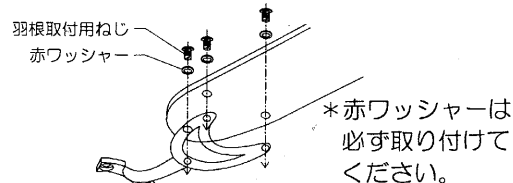
⚠警告	落下のおそれあり。
●取付天井は必ず補強する。補強材は45×45以上必要です。	

3．傾斜天井に取り付ける場合
●取付金具の開口部が上側となるように取り付けてください。

開口部

2．シーリングファン本体を組み立てる

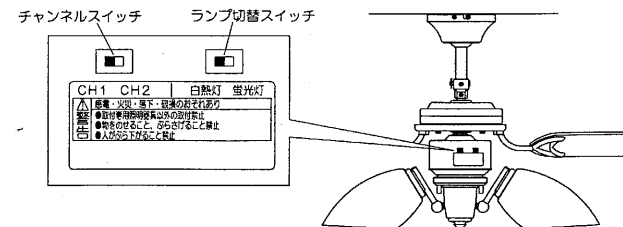
1．本体よりアーム取付用ねじとスプリングワッシャーを取り外します。（8本）

2．羽根をアームに取り付けます。
羽根取付用ねじと赤ワッシャーをアームから外してください。
羽根をアームにセットしてから羽根取付用ねじと赤ワッシャーを取り付けてください。

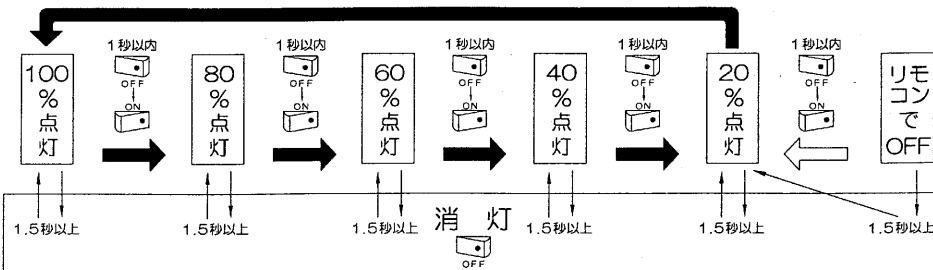
羽根取付用ねじ
赤ワッシャー
＊赤ワッシャーは必ず取り付けてください。

E762Z649G02
E762Z649H54

■壁スイッチ操作による点灯状態切り替え方法

白熱灯シャンデリアとの組み合わせの場合のみ、壁スイッチ操作により切り替えできます

●白熱灯シャンデリアを取り付ける場合は、シーリングファン本体のスイッチを「白熱灯」モードに切り替えてください。
●「蛍光灯」モードでは、明るさを切り替えることができません。

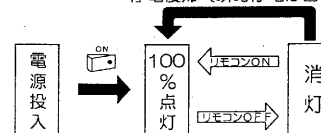
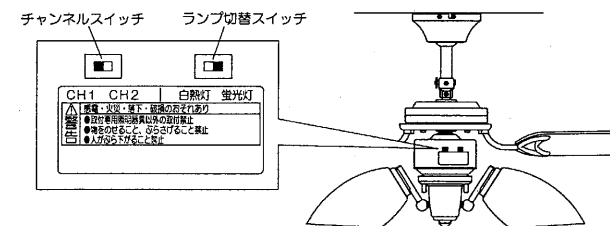
チャンネルスイッチ
ランプ切替スイッチ
CH1 CH2 白熱灯 蛍光灯

●壁スイッチをＯＦＦにして約１秒以内に壁スイッチをＯＮすると、下図 ➡ の順序で点灯状態が切り替わります。
●壁スイッチをＯＦＦにして約１．５秒以上過ぎてから壁スイッチをＯＮすると、ＯＦＦする前の状態で点灯します。
●リモコンで照明をＯＦＦにして、壁スイッチをＯＦＦ→ＯＮ操作すると２０％点灯します。

100%点灯 →（1秒以内 OFF→ON）→ 80%点灯 →（1秒以内 OFF→ON）→ 60%点灯 →（1秒以内 OFF→ON）→ 40%点灯 →（1秒以内 OFF→ON）→ 20%点灯 →（1秒以内 OFF→ON）→ 100%点灯
リモコンでOFF →（1秒以内 OFF→ON）→ 20%点灯
消灯（OFF）：各状態から1.5秒以上

●シーリングファン動作中に壁スイッチによる操作を行うと、シーリングファンの回転は停止します。
再度シーリングファンを動作させるにはリモコン送信機にて操作してください。
●シーリングファン動作中に瞬時停電（０．１秒以内）が発生してもシーリングファンの回転は継続します。

⚠警告	発煙・発火・感電のおそれあり。
●蛍光灯器具（電球形蛍光ランプ）を「白熱灯」モードで点灯させない。	

蛍光灯器具（電球形蛍光ランプ）との組み合わせ

チャンネルスイッチ
ランプ切替スイッチ
CH1 CH2 白熱灯 蛍光灯

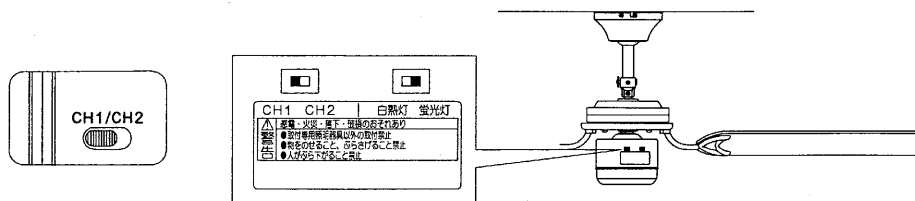
●蛍光灯器具（電球形蛍光ランプ）は「蛍光灯」モードでご使用ください。
●壁スイッチをＯＮすると、１００％点灯します。

電球形蛍光灯シャンデリアとの組み合わせ

停電復帰（瞬時停電は含まない）
電源投入 →（ON）→ 100%点灯 ⇄ 消灯（リモコンON / リモコンOFF）

⚠警告	発煙・発火・感電のおそれあり。
●蛍光灯器具（電球形蛍光ランプ）を「白熱灯」モードで点灯させない。	

■リモコン送信機の操作方法

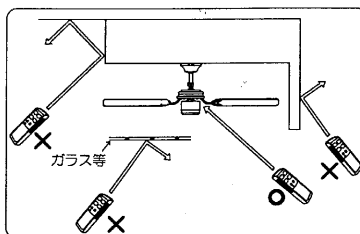
リモコン操作方法

- ●リモコン操作は壁スイッチをONの状態にして行ってください。シーリングファンはリモコン送信機でのみ操作できます。
- ●リモコン受信の際、ブザー音が鳴ります。
  ※すでに設定されているモードと同じボタンを押してもブザーはなりません。
  （例：《冬》モード中に《冬》ボタンを押してもブザーはなりません。）
- ●シーリングファン本体はリモコン信号受信時、約１秒後に動作を開始するように設定されています。

※工場出荷時のチャンネルはすべて「1」になっております。
※別売の電球形蛍光灯シャンデリア、白熱灯シャンデリアにはチャンネルスイッチがありません。

- ●リモコン送信機をシーリングファンのリモコン受光部（３箇所）に向けて操作してください。
  天井面が黒っぽい場合には検知しにくい場合があります。
- ●照明器具が電球形蛍光灯器具の場合、点灯直後数分間、ファン操作および照明器具の《OFF》ボタンのリモコン操作ができない場合があります。
  このような場合は、数分間経ってからリモコン操作を行ってください。

■リモコンご使用上のお願い

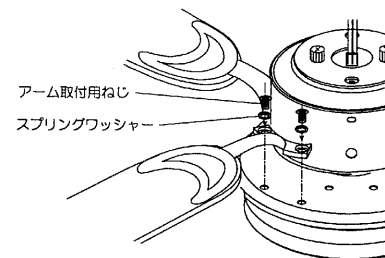
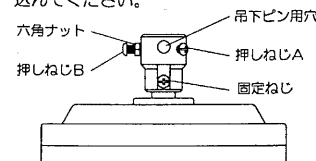
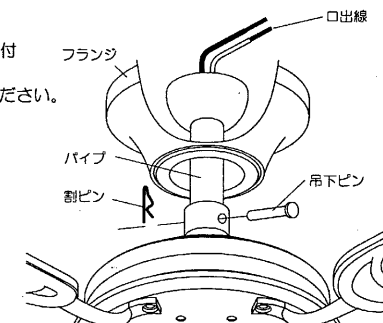
- ●長時間お使いにならない場合は電池を取り出しておいてください。液もれ等の故障の原因となります。
- ●リモコン送信機およびシーリングファンが誤動作した場合は、一度電源を切ってから電源を入れなおしてください。
- ●リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
- ●天井・壁・床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
- ●この器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器等を使用すると相互のリモコンが正常に作動しないことがあります。
- ●近くに蛍光灯器具があると、リモコンがききにくい場合があります。

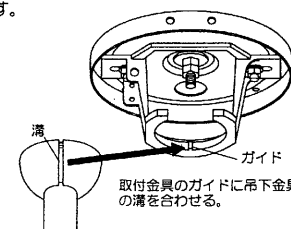
- ●リモコン送信機の周囲に右図のようなしゃへい物がある場合には、リモコンが動作しない場合がありますので、その際は、しゃへい物を避けて、再度ボタンを押してさい。
- ●リモコン送信機の送信部、器具の受光部は汚れますと動作しにくくなりますので乾いた布で拭いてください。
  また電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
- ●このリモコン送信機のリモコン信号を、市販の学習リモコンに記憶させて使用した場合、正常に動作しない場合があります。

２．シーリングファン本体を組み立てる（つづき）

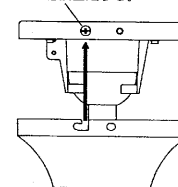
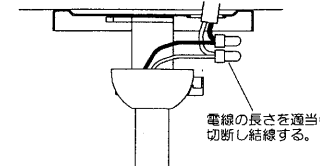
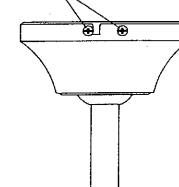
３．アームをシーリングファン本体に取り付けます。
本体より外したアーム取付用ねじ、スプリングワッシャーでしっかりと固定してください。

＊スプリングワッシャーは必ず取り付けてください。
＊羽根は必ず４本全て取り付けてください。

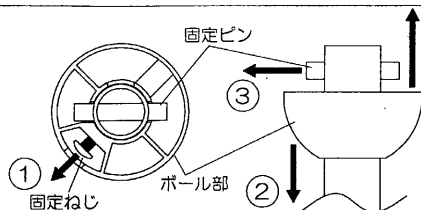
アーム取付用ねじ
スプリングワッシャー

⚠ 警告	落下のおそれあり。
ねじは確実にしめる。締め付けが不十分だと落下してけがの原因。	

４．パイプをシーリングファン本体に取り付けます。
(1)パイプにフランジを通してください。
(2)パイプに本体の口出線を通してください。
(3)本体の押しねじA，Bをゆるめてから、パイプを本体中央穴に差し込み、吊下ピンを本体とパイプに通してから割ピンを取り付けてください。
(4)本体の押しねじA，Bを締め込み、パイプを確実に固定してください。
※パイプを持ち上げながら、押しねじを締め付けてください。
※押しねじBは六角ナットをゆるめることによって、ねじ込み位置を移動させることができます。六角ナットは確実に締め込んでください。

⚠ 警告	落下のおそれあり。
押しねじA，Bは確実に締める。締め付けが不十分だと器具がガタついたり落下の原因。 割ピンは必ず取り付ける。取り付けないと落下の原因。 固定ねじはゆるめたり、取り外したりしない。落下の原因。	

３．シーリングファン本体を取り付ける

１．組み立てたシーリングファン本体を天井に取り付けた取付金具に取り付けます。
取付金具のガイドに吊下金具の溝を合わせてください。
２．口出線と電源線を結線してください。
※口出線は延長パイプ（９００mm）に合わせた長さとなっています。
口出線を適当な長さに切断してから接続してください。
※口出線と電源線を結線する端子は付属しておりません。

３．フランジを取付金具に取り付けます。
(1)取付金具に取付ねじDを２本取り付けます。
(2)フランジを取付ねじDに合わせて仮固定します。
(3)取付ねじD４本でフランジを固定します。

この取付ねじDに合わせてフランジを仮固定する。

取付ねじD４本でフランジを固定する。

■延長パイプの取り付けかた

詳しくは延長パイプに付属されている取扱説明書をご確認ください。

① 固定ねじをゆるめます。

② 吊下金具のボール部を下げます。

③ 吊下金具の固定ピンを引き抜きます。

④ 吊下金具のボール部を引き抜きます。
吊下金具のボール部を用意した延長パイプ（別売）に取り付けます。

■化粧カバーの取り付けかた

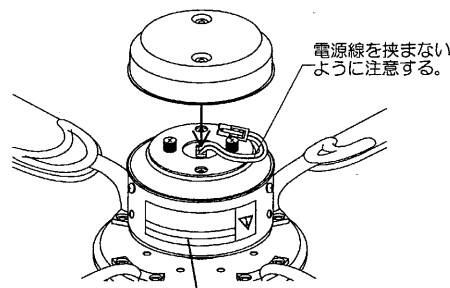
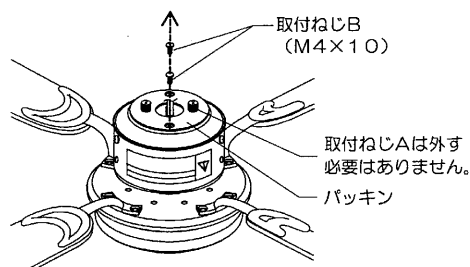
⚠ 注意

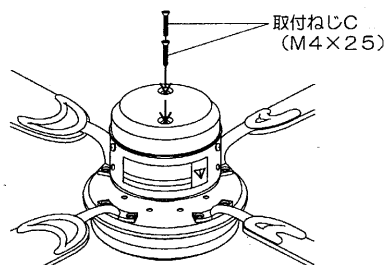
●化粧カバーの取り付けは、電源を切ってから取り付ける。感電の原因。

●電源線をシーリングファン本体と化粧カバーに挟まった状態で取り付けない。感電、火災の原因。

※注）安全のため、ファン本体を天井より取り外し、床置きで化粧カバーの取り付け・取り外しを行ってください。

1．取付ねじBを2本を外します。

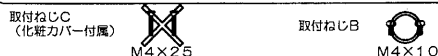
2．化粧カバーをファン本体に位置合わせします。

経年劣化に係る注意喚起のための表示位置
※詳細についてはP.10を参照してください。

3．付属の取付ねじC2本で化粧カバーを固定します。

※注）取付ねじB（M4×10）2本は、照明器具（別売）を取り付ける際に使用します。紛失しないように注意してください。

※注）パッキンは、はがさないでください。
照明器具（別売）を取り付ける際に使用します。

⚠ 注意

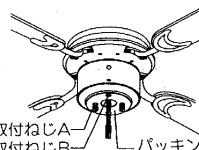
●付属の取付ねじC（M4×25）で照明器具（別売）を取り付けない。感電の原因。

取付ねじC（化粧カバー付属） M4×25　　取付ねじB M4×10

■化粧カバーの取り外しは、取り付けかたと逆の順序で行ってください。

■照明器具（別売）の取り付けかたについては、照明器具の取扱説明書をご確認ください。

※照明器具は専用器具のみ取り付けることができます。

取付ねじA・Bを使用して照明器具を取り付けます。

⚠警告	感電のおそれあり。
作業を行うときは、必ず電源(壁スイッチ)を切る。	

⚠注意

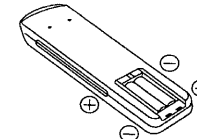
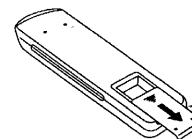
●シーリングファンの振動によりねじがゆるむ場合があります。6ヶ月に1回はねじがしっかり固定されているか確認する。ねじがゆるんでいる場合は、ドライバーなどで締め直す。

●器具下部のパッキンは照明器具の傾き調整及び振動抑制のためのものです。はがさないでください。

■リモコン送信機

リモコンの準備（付属の乾電池を入れる）

1．裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。

2．単4乾電池を入れてカバーを閉めてください。

お願い

●交換の際は必ず2本とも新品の乾電池を入れてください。動作不良の原因となります。

●長期にわたり、リモコン送信機を使用しない場合は、電池を外しておいてください。液もれなどでリモコン送信機を傷める原因となります。

⊕ ⊖ を正しく入れる

リモコンホルダーの使いかた

●リモコンホルダーはリモコン送信機に付属の取付用木ねじ（2本）で壁面に取り付けてください。

●リモコンホルダーは保管用です。リモコンホルダーに置いたままでリモコン操作をしても動作しない場合があります。

各部の名前

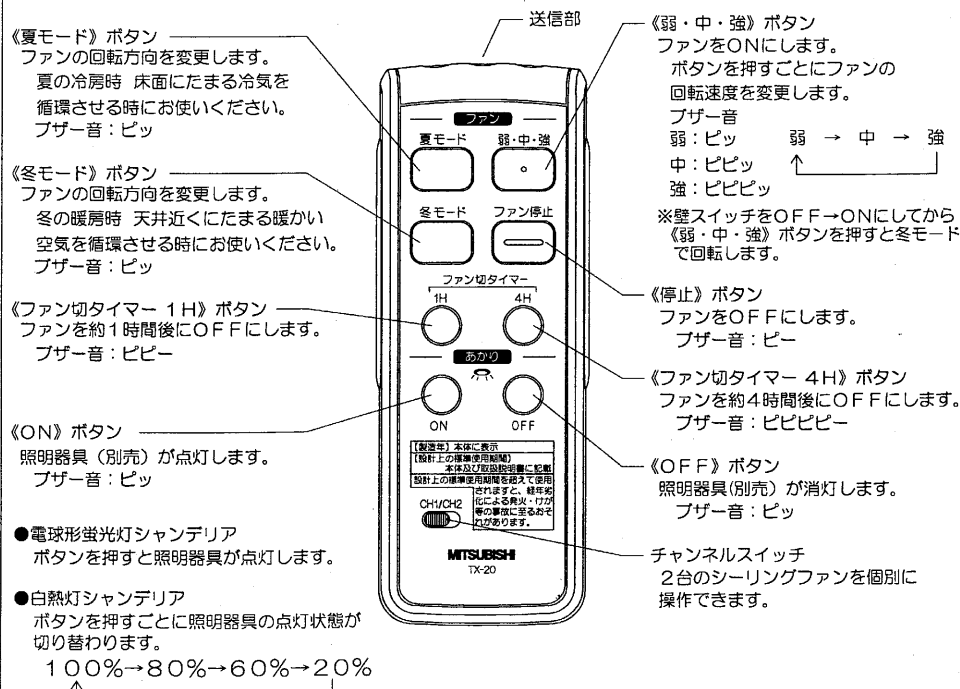
●リモコン操作は壁スイッチをONの状態にして行ってください。

●シーリングファンはリモコン送信機でのみ操作ができます。

《夏モード》ボタン
ファンの回転方向を変更します。
夏の冷房時 床面にたまる冷気を循環させる時にお使いください。
ブザー音：ピッ

《冬モード》ボタン
ファンの回転方向を変更します。
冬の暖房時 天井近くにたまる暖かい空気を循環させる時にお使いください。
ブザー音：ピッ

《ファン切タイマー 1H》ボタン
ファンを約1時間後にOFFにします。
ブザー音：ピピー

《ON》ボタン
照明器具（別売）が点灯します。
ブザー音：ピッ

●電球形蛍光灯シャンデリア
ボタンを押すと照明器具が点灯します。

●白熱灯シャンデリア
ボタンを押すごとに照明器具の点灯状態が切り替わります。
100%→80%→60%→20%

《弱・中・強》ボタン
ファンをONにします。
ボタンを押すごとにファンの回転速度を変更します。
ブザー音
弱：ピッ
中：ピピッ
強：ピピピッ
弱 → 中 → 強

※壁スイッチをOFF→ONにしてから《弱・中・強》ボタンを押すと冬モードで回転します。

《停止》ボタン
ファンをOFFにします。
ブザー音：ピー

《ファン切タイマー 4H》ボタン
ファンを約4時間後にOFFにします。
ブザー音：ピピピピー

《OFF》ボタン
照明器具(別売)が消灯します。
ブザー音：ピッ

チャンネルスイッチ
2台のシーリングファンを個別に操作できます。

※白熱灯器具（シャンデリア）を使用する場合は、シーリングファン本体の切り替えスイッチを「白熱灯」モードにしてください。